

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8266
担当部課名	土木部	道路補修	課	調査補修 班
事務事業名	道路緊急維持補修		事業コード	32210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりのある道路の整備	~63 年度
施策名	第1施策	人にやさしいみちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市道の良好な維持管理を図り、快適な生活環境を保持するため、道路の破損箇所の修繕を行う。		相模原市道 (道路補修課管内)	
		対象数	8462路線、1640km
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
需用費・施設修繕料 23,365千円 道路緊急維持修繕 63件 防護柵の補修、道路上の樹木伐採等		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

4 評価指標

指標名	修繕実施率		
指標式	緊急修繕実施件数 / 修繕を要する破損等の件数		
指標設定の意図	破損箇所に対する修繕の実施の割合で成果を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	101	65	a 63	b 63	70
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	27,641	31,961	23,365	26,000
	人員・時間数	315時間	315時間	315時間	315時間
	人件費	1,317	1,317	1,317	1,317
	その他経費				
	合計	28,958	33,278	24,682	27,317
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 13年度中の破損箇所については、全て修繕を実施できた。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 道路の破損箇所等を放置することは危険であり、車両や歩行者の安全を図るために補修は必要。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 道路の破損箇所を修繕することにより、管理瑕疵による事故を未然に防ぐことができる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 相模原市道の維持管理であり、市が行うことが適当であるが、自動車による「当て逃げ」などの場合は、警察へ被害届けを提出するなど原因者へ費用を請求することも検討。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 破損箇所等について、早期に修繕を行うことにより、道路を安心して通行することができる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 破損箇所等について、早期に修繕を行うことにより、安全でゆとりのある道路として通行することができる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 車両や歩行者の安全を図るため、緊急に行っている補修のため今以上の成果の向上は見込めない。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 「当て逃げ」等場合には積極的に原因者を探し、費用を請求することも検討すべき。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>説明</p> <p>車両や歩行者の安全を確保するため、道路の破損箇所等については迅速に修繕を行っており、今後も継続して事業を行うことが必要。</p>
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点